

2024年11月27日

News Release

三井住友ファイナンス&リース株式会社
SMFL 未来パートナーズ株式会社
ヤンマーホールディングス株式会社
ヤンマーエネルギーシステム株式会社

国内最大規模となる 150MW の太陽光バーチャル PPA に関する基本合意契約を締結



<バーチャル PPA に取り組む太陽光発電設備>

三井住友ファイナンス&リース株式会社(以下「SMFL」)の戦略子会社、SMFL 未来パートナーズ株式会社(以下「SMFL 未来パートナーズ」)とヤンマーホールディングス株式会社(以下「ヤンマーホールディングス」)、およびヤンマーエネルギーシステム株式会社(以下「ヤンマーエネルギーシステム」)の3社は、バーチャル PPA^{※1}の仕組みを活用し、PPA では国内最大規模となる 150MW(直流容量換算、以下同じ)の再生可能エネルギーの供給に関する基本合意契約を締結しました。

今般、SMFL 未来パートナーズとヤンマーエネルギーシステムの2社は、ヤンマーホールディングスへの再生可能エネルギーの供給を目的に、共同出資による合同会社(以下「発電事業 SPC」)を設立しました。第1期として、高圧太陽光発電所9カ所(計 10.9MW)を取得し、発電所から生み出される追加性^{※2}のある環境価値を、アグリゲーター^{※3}を通じて、ヤンマーホールディングスへ 2024年12月より供給する予定です。今回の取り組みにおいて、SMFL 未来パートナーズは需要家が未確定の状況下においても、先行して太陽光発電所の開発に着手していた事から、ヤンマーホールディングスへ短期間で追加性のある環境価値を提供できた事例となります。

共同3社は、2030年度までに全国で 150MW の電源開発に取り組めます。今後もヤンマーホールディングスが掲げる「YANMAR GREEN CHALLENGE 2050」の達成を目指すと共に、ゼロカーボン社会の実現に貢献していきます。

■SMFL グループの取り組み

SMFL グループは、太陽光・風力・バイオマス・水力などさまざまな再生可能エネルギー発電事業、オンサイト／オフサイト発電事業による CO2 フリー電力の提供、省エネルギー支援サービスなどの事業を展開しています。また、SMFL は、再生可能エネルギーや省エネルギー設備にリースをはじめとするファイナンスサービスを提供しています。SMFLグループは、企業の脱炭素への取り組みを支援するソリューションをワンストップで提供することで脱炭素社会の実現に貢献していきます。

■ヤンマーグループの取り組み

ヤンマーグループでは、持続可能な社会を目指し、「YANMAR GREEN CHALLENGE 2050」を推進しています。「GHG 排出量ゼロの企業活動を実現する」「循環する資源を基にした環境負荷フリーの企業活動を実現する」「お客様の GHG 排出ネガティブ・資源循環化に貢献する」という 3 つの課題に挑戦することで、ブランドステートメントに掲げる“A SUSTAINABLE FUTURE –テクノロジーで新しい豊かさへ。–”を実現します。

ヤンマーのグループ会社であるヤンマーエネルギーシステムは、非常用発電機、コージェネレーションシステムや、ガスエンジンによる空調システムなどの開発・製造・販売・サービス・遠隔監視を一貫して行い、安定した電力インフラや省エネルギーな社会の実現に貢献し続けてきました。昨今では、再生可能エネルギーによる発電所を「YANMAR ENERGY FARM(ヤンマーエナジーファーム)」として自社運営しています。このような取り組みを拡大し、お客さまに最適なエネルギーソリューションを提供することで、エネルギーの脱炭素化を推進していきます。

※1 バーチャル PPA

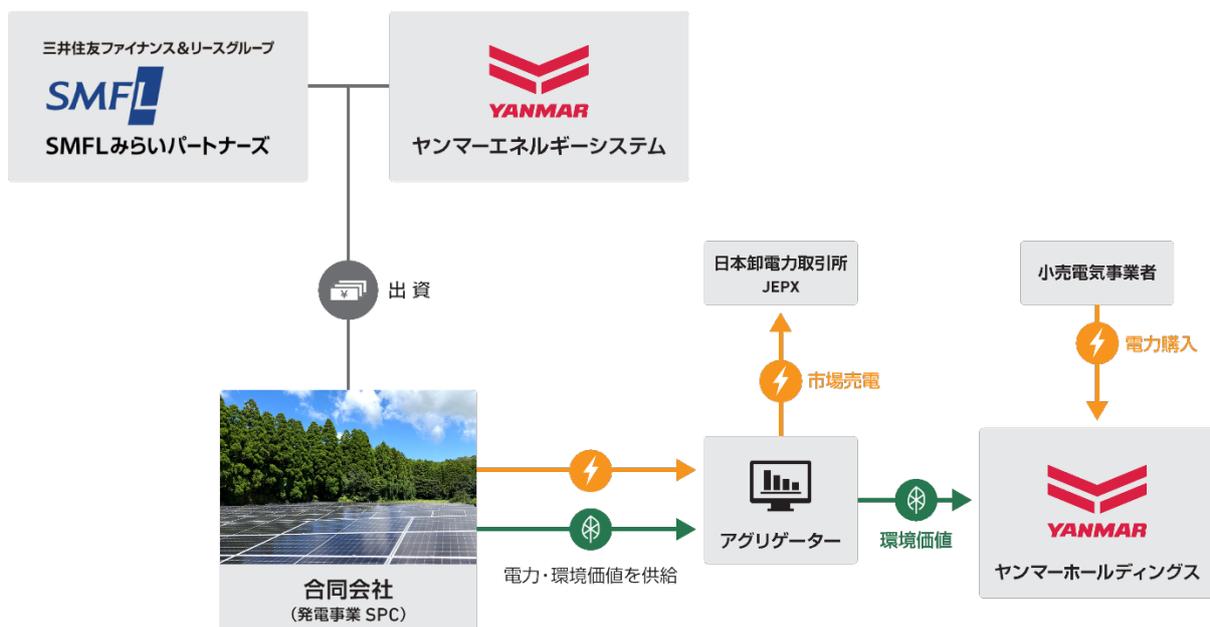
再エネ発電所由来の再エネ電力及び環境価値の内、環境価値のみを長期間に渡って供給する契約

※2 追加性

従来の再エネ電源(FIT)ではなく、新規に再エネ電源を導入すること

※3 当案件においては東芝エネルギーシステムズ株式会社をアグリゲーターとして起用

【スキーム図】



以 上

<注記>

記載内容はリリース発表時点のものです。最新の情報とは内容が異なっている場合がありますのでご了承願います。

【報道関係者お問い合わせ先】

ヤンマーホールディングス株式会社

ブランド部コミュニケーション部 広報担当

E-mail: koho@yanmar.com